

3.28 SAT

2015 29 SUN

事前申込制

とくべつな2日間

取手アートプロジェクト
人材育成プログラム

アートプロジェクト
TAP 塾
2015
で食べていく

+

公開

ディス

カッ

ション

合

宿

ART PROJECT SPECIAL LODGING
& OPEN DISCUSSION

TAP 塾出身

アートマネージャー

17名が大集合!

SPECIAL GUEST

美術家
藤浩志

SPECIAL HOST

熊倉純子

東京藝術大学音楽環境創造科教授

森司

東京アートポイント計画ディレクター

各

地で活躍する、TAP 塾出身の現役
アートマネージャー17名が取手に集結。
地域の中で活動する「アートマネージャー」は
生業になりうるか? 語り明かす一泊二日!

合宿プログラム(定員20名)

3月28日(土)13時~29日(日)17時

会場:取手アートプロジェクト活動拠点ほか

公開ディスカッション(定員100名)

3月29日(日)13時~17時

会場:取手市福祉交流センター1階多目的ホール



藤浩志さんも来るよ!



アートプロジェクトはわたしたちの生業になるだろうか？

地域を舞台として行われるアートプロジェクトで働くアートマネージャー。その仕事は、アーティストと地域のつなぎ手となることで活動の価値をつくり、面白く育てていくことです。けれども、アートプロジェクトを通じて社会とかかわることが、現在「生業」として成立しているか？と問われれば、その必要性をいま自らの仕事からつくり出していく段階にある、と答えます。約10年前に取手アートプロジェクトを実践の場として開いたインターンシップ制度「TAP塾」。この仕組みをきっかけにアートマネージャーの卵としてアートプロジェクトに飛び込み、この道を志して現在各地でプロフェッショナルとして奮闘しているメンバーが数多くいます。TAP塾2015では、今まさに各々の現場で仕事の価値を開拓している彼らをパートナーに迎え、そのリアルな視点と言葉を共有して、「生業」としてのアートプロジェクト」を探究していきます。アートプロジェクトはなぜ、社会／地域に必要なか？その価値はどこにあるか？このテーマに興味関心を持つ方、これからアートプロジェクトをご自身の生業にしたいと考えている方。みなさんのご参加をお待ちしています。——— 羽原康恵（TAP塾2015塾長）

取手アートプロジェクト 人材育成プログラム TAP塾2015 合宿！＋公開ディスカッションプログラム ART PROJECT SPECIAL LODGING & OPEN DISCUSSION

本プログラムでは、現在各地で自らの現場を持つTAP塾修了生らが2日間を通じて参加者と共に合宿！2日間にわたる対話のなかで、「アートプロジェクト＝生業」の現場感覚と構造の検証を行っていきます。公開ディスカッションではアートプロジェクトの現場を様々な形で担うメンバーが集まり、「アートプロジェクト」をつくらせてきた先達と生の意見を交わします。「アートプロジェクトで食べていく」ことは、果たしてできるのか？

3/28-29 合宿プログラム

28 〔土〕	13:00	取手駅東口集合
	13:10～16:00	取手市内アートスポット・アトリエ訪問ツアー（※）
	16:20～17:00	プログラムオリエンテーション
	17:00～19:30	チューター×参加者分科会
	19:30～	解散・夜の部～合宿（※参加任意）
29 〔日〕	10:00～12:00	ディスカッションプログラム・チューター別分科会
	12:30～17:00	公開ディスカッション参加

※28日の市内ツアーに参加されない場合は、16:00取手駅東口集合となります。
※合宿プログラム参加者の方には、お申込み受付後、詳細の行程を別途お送りします。

3/29 公開ディスカッション「アートプロジェクトで食べていく」

会場：取手市福祉交流センター1階多目的ホール（茨城県取手市寺田5144-3）

29 〔日〕	12:30	開場
	13:00～13:20	イントロダクション 藤浩志×羽原康恵
	13:20～14:50	第1部 「アートプロジェクトは“生業”になるか？現場1問1答」 質問者：藤浩志、伊藤達矢、会場来場者 回答者：植田裕子、大澤苑美、大内伸輔、奥村圭二郎、五十殿彩子、澤田諒、豊田亜美、長津結一郎、渡邊梨恵子
	15:00～16:30	第2部 「TAP塾からの10年と、アートプロジェクトのこれから」 パネリスト：熊倉純子、藤浩志、森司
	16:30～17:00	アートマネージャー交流会

※公開ディスカッションのみでも参加いただけます。

TAP塾出身
アートマネージャー
大集合！



TAP塾とは？

2004～06年の3年間、取手アートプロジェクト（TAP）で行われたアートマネージャー養成プログラム。将来、取手および他の地域で「芸術によるまちづくり」をおこないたいと考えている人々を実際の企画・運営に迎え、TAPが蓄積してきた市民運営によるアートプロジェクトの理念や実践方法を広く共有する場となった。TAP塾修了生のうち多くが現在各地で芸術文化事業の担い手となっている。修了生は実施3か年で延べ55名。

塾長：熊倉純子（東京藝術大学音楽環境創造科准教授〔当時〕） 専任講師：森司（水戸芸術館現代美術センター主任学芸員〔当時〕）
実施本部：渡辺好明（東京藝術大学先端芸術表現科教授〔当時〕）、取手市民を中心とした運営スタッフ



TUTOR

1. 奥村 圭二郎 OKUMURA Keijiro

取手アートプロジェクト事務局長。1982年東京生まれ。日本大学芸術学部卒業。非営利団体の運営を動機にTAPに関わり、以来12年目。2015年より現職。

2. 羽原 康恵 HABARA Yasue

TAP塾2015塾長、取手アートプロジェクト前事務局長。筑波大学にて国際関係学の芸術支援を学ぶ。財団法人静岡県文化財団企画制作課を経て2010～14年TAP初代事務局長を務める。

3. 五十殿 彩子 OMUKA Ayako

取手アートプロジェクト事務局。2008年より埼玉県北本市でアートプロジェクト「北本ビタミン」の立ち上げから企画運営に携わる。2014年より現職。

4. 植田 裕子 UEDA Yuko

NPO法人こえとことばとこころの部屋（ココルーム）スタッフ。1985年生まれ。東京藝術大学音楽環境創造科卒業。2011年より現職。「釜ヶ崎芸術大学」等の企画運営に携わる。

5. 大澤 苑美 OSAWA Sonomi

八戸市芸術環境創造専門員。（財）地域創造での勤務を経て現職。南郷アートプロジェクト、八戸工科大学の企画のほか、八戸市の文化行政を担う。

6. 大内 伸輔 OUCHI Shinsuke

東京アートポイント計画プログラムオフィサー。法政大学卒業後、TAPを経て2006～08年東京藝術大学音楽環境創造科教育研究助手。2009年東京アートポイント計画立ち上げ期より現職、文化事業の中間支援に取り組む。

7. 坂本 有理 SAKAMOTO Yuri

東京アートポイント計画プログラムオフィサー。2008～09年Asian Contemporary Art Week事務局（Asia Society）に勤務。2010年より現職。Tokyo Art Research Lab、東京迂回路研究などを担当。

8. 澤田 諒 SAWADA Ryo

美術館やギャラリーなどの施設や、本来展示を目的とされていない場所での美術作品の展示設営を専門に行う。平成25年度文化庁新進芸術家海外研修制度によりドイツZKMにて研修。

9. 友井 まどか TOMOI Madoka

NPO法人アートネットワーク・ジャパン職員。2007年より同法人に在籍し、川崎市アートセンターでのダンスや演劇などの制作に携わる。12年よりしずがも創造舎にて広報・施設管理等に従事。

10. 豊田 亜美 TOYODA Ami

柏の葉アーバンデザインセンター〔UDCK〕ディレクター、一般財団法人柏市まちづくり公社職員。TAP塾を経て事務局を務め、その後各地域のアートプロジェクトを経験し、藤浩志氏をテーマに修士論文を執筆。現在は開発都市でのまちづくりに携わる。

11. 長津 結一郎 NAGATSU Yuichiro

NPO法人多様性と境界に関する対話と表現の研究所代表理事、慶應義塾大学研究員、東京家政大学非常勤講師。「東京迂回路研究」事務局として、わたしたちが生き抜くための“迂回路”探し中。

12. 及位 友美 NOZOKI Yumi

voidsコーディネーター、一般社団法人ノマドプロダクション理事。東京都現代美術館学芸アシスタントを経てNPO法人ANJにて急な坂スタジオやF/Tの発足に関

わる。2012年より独立、企画コーディネーターや広報、編集制作に携わる。

13. 林 絵梨佳 HAYASHI Erika

ヨコハマトリエンナーレ2014広報アシスタント。武蔵野美術大学芸術文化科学卒。博物館での子ども向けイベントやボランティアコーディネーター等を経て現在に至る。

14. 松岡 真弥 MATSUOKA Maya

アサヒ・アートスクエアディレクター。2004年より舞踏、演劇、音楽やクロスジャンルの舞台制作に関わる。07年より彩の国さいたま芸術劇場勤務を経て現職。

15. 谷地田 未緒 YACHITA Mio

国際交流基金クララルンパール日本文化センター文化事業部長。東京藝術大学大学院で芸術支援を研究。2009年より国際交流基金、2012年マレーシア赴任。

16. 渡邊 梨恵子 WATANABE Rieko

一般社団法人谷中のおかって代表。台東区谷中界隈を中心に、学生や社会人メンバーと協働し、アートプロジェクトの企画運営・コーディネートを行っている。

17. 伊藤 達矢 ITO Tatsuya

東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」Museum Start あいうえの プロジェクトマネージャ、森のはこ舟アートプロジェクトディレクター。東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。各地でのアートプロジェクトを手掛け、地域社会における芸術を介したオープンで実践的なコミュニティの形成に取り組む。

SPECIAL GUEST

18. 藤 浩志 FUJI Hiroshi

藤浩志企画制作室代表、美術家、十和田市現代美術館館長、秋田公立美術大学教授。京都市立芸術大学大学院美術研究科修了後、バブアニューギニア国立芸術学校講師、都市計画事務所勤務を経て藤浩志企画制作室を設立。「ヤセ犬の散歩」「お米のカエル物語」「Vinyl Plastics Connection」「Kaekko」「藤島八十郎をつくる」等、各地で対話と地域実験の場を作る美術類のデモンストレーションを実践。http://geco.jp

SPECIAL HOST

19. 熊倉 純子 KUMAKURA Sumiko

東京藝術大学音楽環境創造科教授、取手アートプロジェクト実施本部長。社団法人企業メナ協議会事務局勤務を経て2002年より同科にて教鞭をとる。TAPやアートアクセスあだち一音まち千住の縁（東京都）など、地域型アートプロジェクトに携わりながら、アートマネジメントと市民社会の関係を模索し、文化政策を提案する。著書に「社会とアートのえんむすび1996-2000一つなぎ手たちの実践」、「アートプロジェクトー芸術と共創する社会」など。

20. 森 司 MORI Tsukasa

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化発信プロジェクト室地域文化交流推進担当課長／東京アートポイント計画ディレクター。取手アートプロジェクト実施副本部長。水戸芸術館現代美術センター主任学芸員を経て、東京文化発信プロジェクト東京アートポイント計画の立ち上げから関わり、ディレクターとしてNPO等と協働したアートプロジェクトの企画や人材育成プログラムTARL（Tokyo Art Research Lab）を組織する。2012年7月より「Art Support Tohoku-Tokyo（東京都による芸術文化を活用する被災地支援事業）」のディレクターも務める。

合宿! + 公開ディスカッション 参加申込方法

対象

- アートプロジェクトを仕事にしていきたい方
- 地域型アートプロジェクトの価値を考えたい／つくっていききたい方

定員

合宿プログラム：**20名** 公開ディスカッション：**100名**

申込締切

合宿プログラム：**3月15日(火)** 公開ディスカッション：**3月25日(水)**

※上記締切に関わらず定員に達し次第募集を締め切ります。

参加費

合宿プログラム：**5,000円** 公開ディスカッション：**500円**

※上記費用には保険料を含みます。

※プログラム中の飲食代等は個人負担となりますので予めご了承ください。

申込方法

取手アートプロジェクトのホームページ内にある申込フォームへの記入、もしくはFAX(0297-84-1874)にて下記の内容をご記入の上お申し込みください。

申込フォーム：www.toride-ap.gr.jp/tapjuku2015_apply/

★印は必須記入事項

- ① ご氏名(ふりがな)★
- ② ご所属・ご職業
- ③ 生年月日★
- ④ ご住所
- ⑤ メールアドレス
- ⑥ 電話番号★
- ⑦ 参加動機
- ⑧ 参加希望プログラム★
 - A 合宿プログラム(ツアーから参加) 3月28日(土)13:00～29日(日)17:00
 - B 合宿プログラム(ツアーは不参加) 3月28日(土)16:00～29日(日)17:00
 - C 公開ディスカッション 3月29日(日)13:00～17:00
- ⑨ 3月28日の宿泊について(参加希望プログラムがA・Bの方)
 - D 合宿希望(簡易宿泊・無償) E ホテルをご自身で予約 F 一旦帰宅

※ご提供いただいた個人情報は厳重に管理し、本事業およびTAPからのお知らせ以外の目的には使用いたしません。

集合場所+会場

- 合宿プログラム集合場所：JR常磐線・関東鉄道常総線「取手駅」東口
アクセス：「上野駅」からJR常磐線乗車約40分「取手駅」下車。またはつくばエクスプレス「守谷駅」から関東鉄道常総線に乗り換え約20分「取手駅」下車。
- 公開ディスカッション会場：取手市福祉交流センター 1階多目的ホール
住所：茨城県取手市寺田5144-3(取手市役所前)
アクセス：「取手駅」から関東鉄道常総線乗車「寺原駅」下車、徒歩5分。またはつくばエクスプレス「守谷駅」にて関東鉄道常総線に乗り換え「寺原駅」下車、徒歩5分。

問い合わせ：取手アートプロジェクト実施本部

〒300-1522 茨城県取手市高須2156 TAKASU HOUSE
TEL & FAX: 0297-84-1874

※電話対応は火・金曜13:00～17:00、FAXは毎日24時間受付。

E-mail: tap-info@toride-ap.gr.jp

WEB: www.toride-ap.gr.jp

取手アートプロジェクト(TAP=Toride Art Project)は、1999年より市民と取手市、東京芸術大学の三者が共同でおこなっているアートプロジェクトです。若いアーティストたちの創作発表活動を支援し、市民のみなさんに広く芸術とふれあう機会を提供することで、取手が文化都市として発展していくことを目指しています。2010年より活動の形をフェスティバル型から通年プロジェクト型へと移行し、郊外の日常に寄り添い、そこから生まれる芸術表現のあり方を創造・発信しています。



主催：取手アートプロジェクト実行委員会

助成：一般財団法人地域創造

協賛：東日本ガス株式会社、株式会社安井建築設計事務所

取手ロータリークラブ

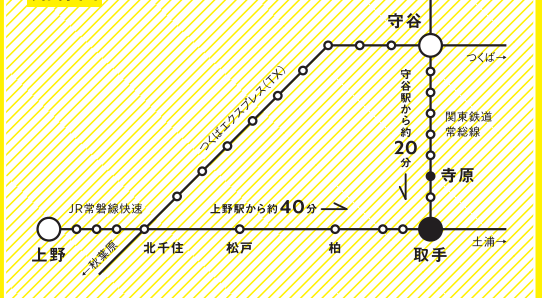
協力：株式会社新六本店、関東鉄道株式会社、株式会社OpenA

独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部

取手井野団地自治会、井野アーティストヴィレッジ

戸頭団地自治会、戸頭町会、高須地区運営委員会

路線図



会場周辺地図

